

東京支部長挨拶

みなさんこんにちは。

鐘華会東京支部長の中村です。

コロナ禍に見舞われ4年振りの支部例会となりました。でもこうして沢山の方々にお集まり頂いて本当に喜ばしい限りです。

今回の支部例会には、来賓として鐘華会からは亀本会長、会社からは藤井取締役副社長、鈴木常務執行役員人事部長を初めとして人事部の方々、そして組合からは三宅東京支部長にお越し頂きました。ありがとうございます。

また支部例会の開催に際しまして、会社からは経費面のみならず人事部の方々に多大なご支援を頂きました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

ところで、まず持つてお詫びしなければならないのが、前回2019年の例会で7名もいらした女性が今回一人もご参加頂けなかったと言う事です。私の不徳の致すところです。

さて、前回の支部例会で鐘華会の高齢化が進むとお話しましたが、まさにその通りとなりました。

参加登録者ベースで申し上げますと、前は正会員49名、準会員6名の合計55名でしたが、今回は正会員52名、準会員の女性のご参加はゼロとなり、トータルでは3名減となりました。但し、正会員のみの比較では3名増加しています。

内訳を見ますと、80歳以上の方が前回の11名に対し、今回は19名と大幅に増加しています。

一方11名いた60代は、今回49歳の方がおられますが、その方を含めて5名になりました。こちらは大幅に減少です。

尚、実参加者ベースでは前は欠席が3名ありましたが、今回も4名の欠席がありました。

でも、これだけ高齢化が進みながらも、男性のみではありますが、参加者が前回より増えていると言うことは、見方を変えれば皆さんがそれだけお元気だと言う事で、喜ばしいことではないかと思えます。

先日、厚労省が発表した全国市区町村別平均寿命で、何と全国1887ある市区町村で川崎市麻生区が男女共に1位になりました。麻生区の男性平均寿命は丁度84年です。

麻生区と言えばかつて百合ヶ丘社宅のあったところですが、さぞかし今も鐘華会員も多く住んでいるかと思いきや、たったお一人でした。勿論今日も元気にご出席です。

そして麻生区の隣の横浜市青葉区が僅か0.1年の差で男性の2位です。

こちらは今も社宅があり、かつ鐘華会員が最も多く住んでいる地域です。今日も数多くご出席です。

さて、川崎市麻生区がなぜ1位になったのかと言いますと、小田急沿線で交通の便はよく、その一方で多摩丘陵が迫り、坂の多いエリアで、散歩好きの住民は日々の暮らしで足腰を鍛えています。加えて、公園が市内ダントツで多く、朝の体操などのグループ活動も盛んです。またカルチャースクールやサークル活動など人と人との触れ合いを大事にする人が多いと聞きます。そのような交流がメンタル面からも健康を支えているようです。

決して川崎市だからではありません。その証拠に JR 川崎駅から南東に広がる川崎区の男性は全国ワースト 20 に入り、麻生区との差は5年を超えます。

今回は2位となりましたが、5年前の前回調査で全国1位だった横浜市青葉区も公園の数は市内トップで、地域コミュニティの活動も盛んと聞いています。

健康維持には食生活と運動は大事ですが、やはりメンタルを支える人と人との触れ合い、交流も大事と最近ではよく言われます。

鐘華会もそのような役割の一端を果たせればと願っています。

引き続き鐘華会の活動にご理解とご協力、そしてご参加頂きますよう宜しくお願い致します。

皆さん、元気に頑張りましょう。